



独立行政法人 国立がん研究センター

創立 50 周年記念イベント

# がんの今と、これから

わかる

とりくむ

ささえあう

## 開催報告書

2012年9月15日（土）～16日（日）

国立がん研究センター 築地キャンパス

2012年11月

独立行政法人国立がん研究センター

## 実施概要

- イベント名 「がんの今と、これから」 わかる とりくむ ささえあう
- 開催日 2012年 9月 15日(土) 11時 30分 ~ 16時 30分  
9月 16日(日) 11時 ~ 16時 30分
- 会場 国立がん研究センター築地キャンパス (中央区築地 5-1-1)
- 参加者数 15日:700名 16日 900名 両日計 1,600名

【主催】 独立行政法人国立がん研究センター

【後援】 厚生労働省、東京都、公益社団法人経済同友会、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会、全国がん(成人病)センター協議会、NHK厚生文化事業団、朝日新聞社、協同通信社、産経新聞社、時事通信社、東京新聞、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

【協力】 特定非営利活動法人キャンサーリボنز、公益財団法人共用品推進機構

【特別協賛】 (株)アシックス、味の素(株)、アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)、花王(株)、コニカミノルタヘルスケア(株)、塩野義製薬(株)、(株)島津製作所、シーメンス・ジャパン(株)、GEヘルスケア・ジャパン(株)、(株)スヴェンソン、ソニー(株)、ソニー生命保険(株)、第一生命保険(株)、テルモ(株)、東芝メディカルシステムズ(株)、(株)日立メディコ、富士フイルム(株)、(株)ロッテ

【協賛】 (株)イノメディックス、片岡物産(株)、QOL総合研究所(株)、サンスター(株)、大鵬薬品工業(株)、(株)ダスキン、一般社団法人電子情報技術産業協会、図書印刷(株)、日本イーライリリー(株)、特定非営利活動法人日本ヘアエピテーゼ協会、富士フイルムメディカル(株)、森永乳業(株)、理科研(株)

【寄付】 武田薬品工業(株)、中外製薬(株)

※他にパンフレットなどに掲載を希望されない協賛社が2社ありました。

# 会場案内



## 【病院棟 会場】

- ① ステージイベント (座席数 100)
- ② 事前お申し込み中央病院の外科手術体験セミナー「ブラックジャックセミナー」
- ③ がん暮らしの相談コーナー
- ④ 国立がん研究センター50年の歩み
- ⑤ コスметィックインフォメーション

## 【管理棟 会場】 ささえあう

### がんの暮らしが広がるアイデア展

- ⑥ 特別会議室セミナー (座席数 70)
- ⑦ 食べる
- ⑧ 身体を動かす
- ⑨ 装う
- ⑩ 安らぐ
- ⑪ 排泄
- ⑫ リンパ浮腫

## 【研究所 会場】 わかる とりくむ

### がんサイエンス・カフェ

- ⑬ がんの情報コーナー
- ⑭ パネル展示
- ⑮ パネル・機器展示
- ⑯ 映像・機器展示

## プログラム

### ■病院棟 会場

#### ■ステージイベント(座席数 100)

##### 【オープニングセレモニー ごあいさつ&コンサート】

9月15日(土)11:30~12:30

会場に朝早くから足を運んでいただいた来場者が見守る中、病院棟 1F ロビーで2日間のイベントの幕開けとして、オープニングセレモニーが開催されました。

ごあいさつ : 国立がん研究センター理事長 堀田知光

厚生労働省 健康局長 矢島鉄也様

コンサート : 山田邦子さん率いる「スター混声合唱団」

創立50周年記念イベント「がんの今と、これから」の幕開けに際し、国立がん研究センター理事長 堀田知光より、主催者を代表してごあいさつがありました。引き続き厚生労働省健康局長 矢島鉄也様より来賓のごあいさつをいただきました。

次に乳がん体験者の山田邦子さんががん撲滅を目指して結成した「スター混声合唱団」がオープニングセレモニーに登場しました。明るく楽しい歌声がロビーに響き渡り、会場は一気に盛り上がりました。立ち見の方も大勢いらっしゃる中、華やかで元気の出るステージとなりました。



## 【フォーラム・講演会 がんを知り、がんと向き合う】

イベントのテーマ、「がんの今と、これから」にふさわしい、がんの最新情報やがんになっても安心して暮らせる社会をつくるための取り組みなどについて、フォーラムと講演会が2日にわたり開催されました。

### 9月15日(土)15:30~16:10 「がんの今と、これらを語る」

国立がん研究センター 理事長 堀田知光

国立がん研究センター がん対策情報センター長 若尾文彦

読売新聞 東京本社 記者 本田麻由美さん

司会: 特定非営利活動法人がんサーリボンス副理事長 岡山慶子さん

最先端のがん治療や研究を進めている国立がん研究センターの取り組みをご紹介しながら、乳がん体験者の本田さんからは、ご自身の体験からこれからのがん治療に望むことをお話いただきました。会場の皆さんからもご意見をいただき、おのおのの立場から活発な発言が飛び交う活気のあるフォーラムとなりました。



### 9月16日(日)13:30~14:10 「がんを遠ざける生活習慣」

国立がん研究センター 予防研究部長 津金昌一郎

根拠に基づく日本人のためのがん予防法について、予防研究部長の津金昌一郎より講演がなされました。会場は立ち見の方もいらっしゃるほどの熱気に包まれ、禁煙、適度な飲酒、運動習慣、体重の維持、バランスのとれた食事など、がん予防のために心がけておきたいことについて、多くの方がメモを取りながらお聞きになっていました。



9月16日(日) 14:30~15:10 「がん検診 — 何を選んでどう受ける」

**国立がん研究センター 検診研究部長 斎藤博**

がん検診について、どのように検診を受けるべきか、検診研究部長の斎藤博部長の講演がなされました。科学的根拠に基づき推奨されるがん検診の方法について説明があり、検診の利益と不利益について正しく理解した上で、有効な検診を受けることが大切という話に、会場の多くの方がうなずきながら聞いていらっしゃいました。



**〃 15:30~16:10 朗読「がんを生きるメッセージ」  
青木裕子さん (軽井沢朗読館 館長 元 NHK アナウンサー)**

イベントの最後を飾った朗読会では、堀文子氏(日本画家)、木下晋氏(画家)、吉武輝子氏(作家)の文章※を、青木裕子さんが朗読しました。引き続き、この朗読会のために一般から募集した患者さんに向けた応援メッセージのうち、9名の作品をご紹介します。そのうち6名の方が来場され、朗読に耳を傾けていました。文体や表現もさまざまなメッセージが生き生きと伝わり、会場の皆さまの心に残るステージとなりました。



※堀氏、木下氏、吉武氏の作品は軽井沢朗読館とNPO 法人キャンサーリボンズが企画・制作した、がん患者さんとそのご家族に向けた朗読CD『あなたには、明日、生きる意味がある』に納められています。

※これらのステージイベントは、座席整理券を当日朝から配布いたしました。管理棟特別会議室でも中継映像を流し、着席でご覧いただきました。

## ■インターネットによる動画配信

当日ご来場できない皆さまに向けて、どこにいてもご覧になれるよう、インターネット(ユーストリーム)による動画配信を行いました。オープニングセレモニーやフォーラム、講演会を中心にご紹介しています。また、イベント終了後も録画でご覧いただけます。

### 配信日時

9月14日(金)	イベント前日配信 「創立50周年記念イベント 内容ご紹介」	22:00~23:00
9月15日(土)	オープニングセレモニー「ごあいさつ&コンサート」 フォーラム「がんの今と、これからを語る」	11:30~12:30 15:30~16:10
9月16日(日)	講演会: 予防「がんを遠ざける生活習慣」 講演会: 検診「がん検診—何を選んでどう受ける」 朗読会: 「がんを生きる メッセージ」	13:30~14:10 14:30~15:10 15:30~16:10

### 動画配信サイト

国立がん研究センター創立50周年記念イベント「がんの今と、これから」インターネットによる動画配信

<http://www.ncc.go.jp/jp/50th/event/streaming.html>



## ■ 中央病院の外科手術体験セミナー「ブラック・ジャック セミナー」

共催: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

9月15日(土)13:00~15:00

9月16日(日)11:00~13:00

参加者は事前にEメールやFAXでお申し込みされた、小学5年生から高校3年生の皆さんです。

15日には31名、16日には33名が参加しました。

このセミナーは、実際のがん医療現場での体験を通じて、「将来医師になりたい」「医療に携わりたい」と関心を抱く方々が増えることを期待して、これからの日本のがん医療を支える人材を育てることに貢献できればという願いを込めて開催されました。国立がん研究センター中央病院の若手医師、看護師をはじめとしたスタッフとともに、実際に治療現場で使用される医療機器を用いた手術体験に、子どもたちは熱心に参加していました。体験終了後には、参加者全員に、セミナー修了証の授与が行われました。

参加した子どもたちからは、「楽しく学べて良かった」「外科医になりたいくなった」「実際に手術で使われる器具を触ったり、使ったりできておもしろかった」「説明がわかりやすかったので、うまくできた」など、スタッフとともに充実した体験ができたという多くの声が寄せられました。



プログラム: 手術縫合・最新医療機器・腹腔鏡トレーニング・シミュレーター・自動吻合器/縫合器

手術着に着替え、手術や最新の医療機器を用いた初めての体験に、参加の子どもたちは目を輝かせ真剣な表情で取り組んでいました。

## ■がんと暮らしの相談コーナー

個別相談：9月15日(土)・16日(日)各日 11:30～15:30

ミニセミナー：「これであなたもお尋ね上手 知って得するお金の話」

9月15日(土)12:45～13:15／14:45～15:15

9月16日(日)11:15～11:45／12:15～12:45

専門看護師や認定看護師、相談支援センターのがん専門相談員などによる、「暮らし」に関する相談コーナー。15日に30名、16日に31名の方が来談され、毎日の生活の中でお困りのことや気になっていることを、ご相談されました。セミナーではがん専門相談員より、がんになった時の「お金」の心配について、わかりやすいアドバイスがありました。



## ■コスメティックインフォメーション

9月15日(土)14:00～15:30

9月16日(日)11:00～12:30

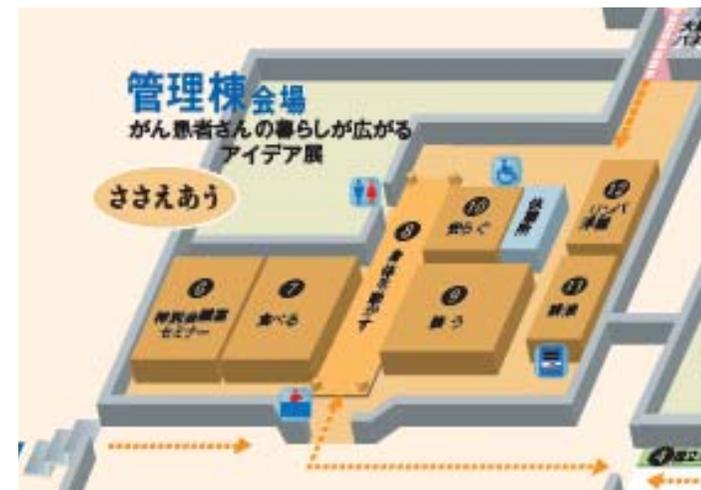
「楽しく学ぶ、元気になる！」をテーマとした、国立がん研究センター中央病院 外見関連患者支援チームによる、外見の変化に対する情報提供コーナー。原因とプロセス、外見と心、目からウロコの対処方法などを学びました。お楽しみタイムには、プチ変身&写真プレゼントがあり、訪れた方々には、楽しみながらきれいで元気になれることを実感していただきました。



## がん患者さんの暮らしが広がるアイデア展

がん患者さんが感じている生活の不便さを解消・軽減するための工夫や身近な製品、対処法などを、6つのテーマ「食べる」「装う」「身体を動かす」「安らく」「排泄」「リンパ浮腫」にわけてご紹介しました。製品展示はもちろん、看護師による生活の工夫のアドバイスや企業がサポートしたミニレクチャーなどがあり、多くのご来場者が毎日の生活にすぐに役立つヒントを得ることができた展示となりました。

特別会議室のセミナーでは、専門家による生活を快適にするための実践方法の紹介があり、多くの方が参加され、熱心に聞いている姿が見られました。



### 【食べる】

- ・食欲がない、味覚が変わったときのお助けメニュー紹介
- ・試食コーナー
- ・口腔ケア、口渇対策グッズの紹介



### 【身体を動かす】

- ・ウォーキングセミナー
- ・正しい靴の選び方教室
- ・簡単お掃除法の紹介
- ・身体の動きを助ける製品紹介



(アイデア展全体の展示パネル：80枚)

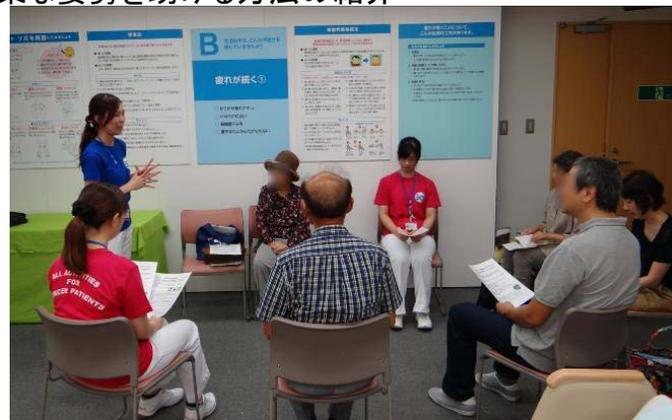
## 【装う】

- ・メイクアップセミナー(カバーメイク教室)
- ・頭皮ケア、スキンケアセミナー
- ・スカーフ・ウィッグ・帽子のお試しや紹介
- ・乳がん手術後の補正下着の紹介



## 【やすらぐ】

- ・リラクゼーション(呼吸法)体験
- ・睡眠を助ける工夫の紹介
- ・楽な姿勢を助ける方法の紹介



## 【排泄】

- ・排泄ケア&デモンストレーション
- ・おむつ、パッドの上手な使い方
- ・皮膚トラブル、においのお悩み解決法の紹介



## 【リンパ浮腫】

- ・セルフマッサージ教室
- ・弾性ストッキング、アームスリーブの紹介



## 【生活の工夫カード】

(29種類)

悩みを解消・軽減するための「生活の工夫カード」。ご自身の悩みに応じて、来場者にご自由にお持ちいただきました。



## 【特別会議室セミナー】(座席数 70)

アイデア展ではがん患者さんが感じている「生活の不便さの調査」の結果から、不便さを解消するために役立つ、専門家によるセミナーを開催しました。生活を心地よくするためのヒントやアドバイスなどをご紹介いただき、多くの皆さんが熱心に聞いていらっしゃいました。

	9月15日(土)			9月16日(日)		
	時間帯	テーマ	実施	時間帯	テーマ	実施
特別協賛セミナー	13:00-13:45	靴の役割・効用	(株)アシックス	11:30-12:15	味覚について	味の素(株)
	13:45-14:30	メイクアップ	花王(株)	12:15-13:00	ウォーキング	(株)アシックス
	14:30-15:15			13:00-13:45	頭皮ケア	(株)スヴェンソン
	15:15-16:00	頭皮ケア	(株)スヴェンソン	13:45-14:30	メイクアップ	花王(株)
				14:30-15:15	ウォーキング	(株)アシックス



15日「靴の役割・効用」



15日、16日「頭皮ケア」



15日、16日「メイクアップ」



16日「味覚について」



16日「ウォーキング」

## 【ミニレクチャー】

テーマ別に各部屋にて、生活の不便さを解消するためのミニレクチャーが、数多く開催されました。また、企業からもたくさんのサポートをいただきました。

### 【装う】



### 【排泄】



### 【リンパ浮腫】

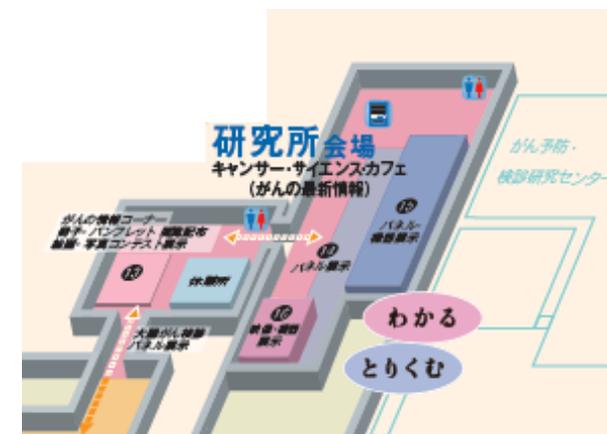


	9月15日(土)			9月16日(日)		
	時間帯	テーマ	実施	時間帯	テーマ	実施
装う	13:00-13:45	メイクアップ	(株)スヴェンソン	11:30-12:15	ボディーケア	花王(株)
	13:45-14:30			13:00-13:45	カバーメイク	マーシュ・フィールド(株)
	14:30-15:15	カバーメイク	マーシュ・フィールド(株)	13:45-14:30	スカーフ	(株)オフィスプラント 高本様
	15:15-16:00	ボディーケア	花王(株)	14:30-15:15	メイクアップ	(株)スヴェンソン
安らぐ	11:30-12:30	マッサージ・つぼ	NCC	11:00-12:00	マッサージ・つぼ	NCC
	13:00-13:30	呼吸法・筋弛緩法	NCC	12:30-13:00	呼吸法・筋弛緩法	NCC
	14:00-15:00	マッサージ・つぼ	NCC	13:30-14:30	マッサージ・つぼ	NCC
	15:30-16:00	呼吸法・筋弛緩法	NCC	15:00-15:30	呼吸法・筋弛緩法	NCC
排泄	12:30-13:00	陰部洗浄～スキンケア～おむつの当て方	白十字(株)+NCC	12:30-13:00	陰部洗浄～スキンケア	NCC
	14:00-14:30			15:00-15:30		
	15:00-15:30					
リンパ浮腫	12:00-13:30	リンパ浮腫教室	NCC	12:00-13:30	リンパ浮腫教室	NCC
	14:30-16:00	リンパ浮腫教室	NCC	14:30-16:00	リンパ浮腫教室	NCC
動く	13:40-14:10	簡単お掃除法	(株)ダスキン	13:40-14:10	簡単お掃除法	(株)ダスキン
	15:10-15:40	簡単お掃除法	(株)ダスキン	15:10-15:40	簡単お掃除法	(株)ダスキン
食べる	特定のデモなし・随時試食			特定のデモなし・随時試食		

## キャンサー・サイエンス・カフェ (がんの最新情報)

### Cancer Science Café

がんについての知識、最新の研究、診断方法、治療法などについて、機器展示を交えてわかりやすくお伝えするコーナー。研究所、中央病院、がん予防・検診研究センター、がん対策情報センター、多施設臨床試験支援センターなどから51種類のパネル展示と、企業の協力を得て機器・映像の展示がなされました。患者さん、ご家族をはじめ、一般の方、若手研究者の方など、がんに関心がある方々が熱心にご覧になったり、質問されている姿が印象的でした。



### 【展示内容】 (パネル 51 種)

#### わかる

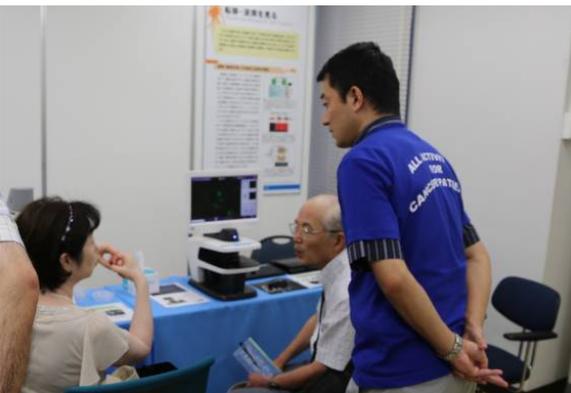
- ・がんの性質、がんの発生の仕組み
- ・がんの遺伝子変化を探す
- ・がんの転移のメカニズムをさぐる
- ・がんのマーカーたんぱく質を見つける
- ・映像展示:がんを見る・知る・触れる

#### とりくむ

- ・がん予防研究の今
- ・がんの創薬に向けて
- ・がんの診断技術
- ・がんの手術映像
- ・がんの新しい治療(分子標的薬、核酸医薬治療、免疫療法、放射線治療装置など)
- ・がんの臨床試験、治療開発と保険制度
- ・バイオバンクプロジェクトのご紹介
- ・相談支援センターのご紹介
- ・がんの情報コーナー(がん情報サービス・患者必携・がんの冊子・相談支援センターなど)

など

# がん・サイエンス・カフェ



## ■総合案内・受付など

総合案内・受付は、病院棟と管理棟入り口の2カ所に設けられました。

来場者へは、イベントプログラムとアンケート用紙(クイズラリー回答欄付)を配布しました。

イベント当日は、「クイズラリー」が会場内で実施されました。来場者は、会場内に掲示された6問のクイズにお答えになりながら、会場内を回っていただきました。

クイズラリーの回答者と、来場者アンケートをご提出いただいた方には、ノベルティグッズ(エコバッグまたは オープナー)をお渡ししました。

## イベントプログラム

## クイズラリー

**がん患者さんの暮らしが広がる アイデア展**

がん患者さんの暮らしが広がるアイデア展を開催します。がん患者さんやご家族の生活に役立つアイデアを募集し、展示します。

**管理棟会場**

ささえあう

13:00~13:30 癌の工と薬

13:40~14:15 アイデア展

15:15~15:45 展示

11:30~12:00 癌について

12:10~12:45 ウォーキング

13:00~13:30 展示

13:40~14:15 アイデア展

14:20~15:00 ウォーキング

**特別会議室セミナー会場**

13:00~13:30 癌の工と薬

13:40~14:15 アイデア展

15:15~15:45 展示

**がんの最新情報**

Cancer Science Cafe  
がんの最新情報

研究所会場

わかるとりくむ

国立がん研究センター 創立50周年記念イベント

平成24年9月15日(土)13:30~15:30  
16日(日)11:30~13:30

入場料

わかるとりくむ ささえあう

クイズラリー こたえ

第1問: 高齢化とともに「がん」にかかる人が増えていいます。現在、日本人のうち、一生のうち何らかのがんにかかる人はどのくらいでしょうか?  
答え: 4、2人に1人 (50%)  
現在日本人は、一生のうち2人に1人はがんになるといわれています。がんは全ての人のとって身近な病気です。

第2問: がんを防ぐために、多くの研究が行われています。さて、次のうち、がんの原因としてあまり関連がないものはどれでしょうか?  
答え: 2、テレビゲーム  
がんの原因の多くはたばこや飲酒、食事などの日常の生活習慣にかかわるものであることが多くの研究でわかっています。がんは禁煙や食生活の見直し、運動不足の解消などによって、「なりにくくする(予防する)」ことができます。

第3問: 治療を行う前に、がんの性質を詳しく調べるためのさまざまな検査が行われます。さて、次のうち、手術や内視鏡検査で得られた組織を、顕微鏡などを使って詳しく調べる検査はどれでしょうか?  
答え: 3、病理診断  
がんの診断では、「治療の効果を測る」と同時に、「体の負担を最小限にすること」が重要です。がんを正確に診断するために、詳しい診断と検査を行います。

第4問: がんを効果的に治療する方法として3大治療があります。がんを切除する(手術)、抗がん剤を用いる治療、もう一つはどれでしょうか?  
答え: 1、放射線治療  
がんの治療は、手術と抗がん剤治療と放射線治療の3つをそれぞれ単独で、あるいはいくつかを組み合わせて行います。ほとんどの種類のがんにおいて、この3つ以外の方法は科学的に有効性が確立していません。

第5問: がん研究によって明らかにされたがんの発生や進展の分子メカニズムを応用して、がん細胞を狙い撃ちにする治療法の開発が進められています。その治療の名前はどれでしょうか?  
答え: 2、分子標的治療  
世界中の多くの研究者が、より効果的ながんの治療法を開発するため、日々研力を重ねています。

第6問: 現在、がん患者さんと家族を支えるいろいろな取り組みがなされています。次のうち、全国のがん診療連携拠点病院に設置されているがんに関する相談窓口はどれでしょうか?  
答え: 3、相談支援センター  
相談支援センターは患者さんとご家族を支えます。患者さんやご家族だけでなくご高齢でもご利用いただけますので、どうぞお気軽にご利用ください。

今日は、国立がん研究センターにお祝いいただき、どうもありがとうございます。どうぞお気を付けてお帰りください。  
国立がん研究センター創立50周年記念イベント「がんの今と、これから」



## ノベルティグッズ (エコバッグ&オープナー)



## 広報活動・メディア掲載状況

### ■記者発表

8月22日(水) 13:00～13:30 国立がん研究センター管理棟1F 第1会議室

—がんになっても安心して暮らせる社会を目指して—  
国立がん研究センター創立50周年記念イベント「がんの今とこれから」  
開催に関する説明会



出席者	国立がん研究センター	理事長	堀田 知光
		がん対策情報センター長	若尾 文彦
		中央病院 看護部長	那須 和子
		中央病院 副看護部長	森 文子
		統括事務部長	依田 晶男

### ■新聞広告(全5段)

8月28日(火) 朝日新聞 夕刊

8月31日(金) 読売新聞 夕刊

国立がん研究センター創立50周年記念イベント

## がんの今と、これから

わかる とりくむ ささえあう

**入場 無料** 平成24年9月15日(土)11:30～16:30 / 16日(日)11:00～16:30  
国立がん研究センター旗塚キャンパス(東京都中央区旗塚5-1-1)

患者さんやご家族、がんに関心をもつ皆さま、最先端のがん治療や研究に興味がある学生や専門家の方、がんの最新情報に触れてみませんか。国立がん研究センターのスタッフが、皆さまとともに「がんの今と、これから」を考えます。

**オープニングセレモニー(旗塚旗塚キャンパス)**  
9月15日(土)11:30～12:30 (開場 11:15)  
ごあいさつ&コンサート  
この日だけ! 国立がん研究センター音楽隊 旗塚 旗塚  
山崎洋子さん(歌)「スカー-旗塚合唱団」コンサート

**フォーラム「国連大会(国連総会)の「がんを知り、がんを治す会」**  
9月15日(土)15:30～16:30 「がんの今と、これからを語る」  
国立がん研究センター理事長 堀田 知光  
9月16日(日)13:30～14:30 「がんを治す会」  
国立がん研究センター 予防医療部長 神谷 新一郎  
14:30～15:30 「がん検診一歩を運んであげる」  
国立がん研究センター 検診部長 長瀬 博  
15:30～16:30 総論「がんを治す会」  
菅永 裕子さん(国産がん検診部長 元NHKアナウンサー)

**キャンサー・サイエンス・カフェ がんの最新情報**

**わかる**  
・がんの最新治療を知ろう  
・がんの最新研究の今  
・がんの最新情報を知ろう

**とりくむ**  
・がんの最新治療・予防医療  
・がんの最新研究の今  
・がんの最新情報を知ろう

**がんになっても安心して暮らせる社会を目指して**

**がん患者さんの暮らしが広がるアイデア展**  
生活の不都合を管理・軽減するための  
製品展示、体験、セミナーなど

**ささえあう**  
・食べ・飲み・寝・生活、体験、体験など  
・暮らし・移動・生活、体験、体験など  
・学び・生活・体験、体験、体験など  
・生活・体験、体験、体験など

**がんを治す会**  
① がんを治す会 旗塚  
② がんを治す会 旗塚  
③ がんを治す会 旗塚  
④ がんを治す会 旗塚  
⑤ がんを治す会 旗塚  
⑥ がんを治す会 旗塚

**アサヒ**  
① 旗塚  
② 旗塚  
③ 旗塚  
④ 旗塚  
⑤ 旗塚  
⑥ 旗塚

**イベントの開催中各会場国立がん研究センターホームページでご案内しています。http://www.ncc.go.jp/jp/50th/event/**  
お問い合わせ:国立がん研究センター創立50周年記念イベント事務局 E-mail:50th@ncc.go.jp TEL:03-5561-6551(受付時間:平日 11:00～17:00)

## ■新聞掲載

8月30日(木) 読売新聞 夕刊

9月4日(火) 朝日新聞 朝刊

9月13日(木) 日本経済新聞 夕刊

10月4日(木) 読売 KODOMO 新聞

## ■テレビ露出

9月16日(日)NHK 総合テレビ ニュース 6:00～6:15

15日のイベントの様子が翌日朝のNHKニュースで放送されました。「がん患者さんの暮らしが広がるアイデア展」での、患者さんの悩みを解消する製品展示や工夫のご紹介を中心とした構成で、患者さんや那須和子看護部長のインタビューもありました。

9月26日(水)NHK Eテレ ハートネットTV 福マガ 20:00～20:29

9月は「がん征圧月間」。国立がん研究センターで開かれたイベントを、森山愛子編集員が取材し、がんの予防研究や最新の治療法などを取材。中でも注目されたのは「がん患者の暮らしが広がるアイデア展」。治療による味覚障害や食欲不振の時のお助けメニューを初め、リンパ浮腫を和らげるセルフマッサージの実演などをご紹介いただきました。

さらに、このイベントのオープニングセレモニーにも出演した、乳がんを体験した山田邦子さん

率いる「スター混声合唱団」の皆さんが生出演しました。がんと向き合う人たちへの応援メッセージとともに、美しい歌声が披露されました。

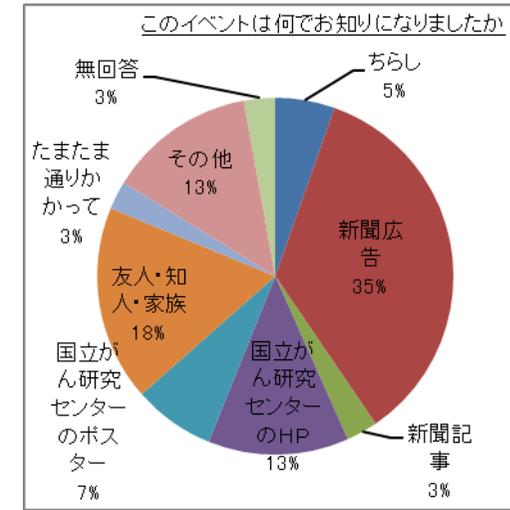
10月25日(木)NHK Eテレ オトナへのトビラTV “がん”知ってる? 19:25～19:55

中高生向けのがんについて知っておきたい知識を紹介する番組の特集で、16日の手術体験セミナー「ブラック・ジャック セミナー」に参加した高校生が、セミナーの様子映像とともに、がんについての疑問についてインタビューに答えていました。

# 来場者アンケート結果

- 調査期間 平成 24 年 9 月 15 日、16 日
- 対象者 国立がん研究センター創立 50 周年記念イベント来場者のうちプログラムを配布した 1,600 人
- 回答者数 15 日 138 人、16 日 213 人 計 351 人 [有効回答率 351/1,600 人 (22%)]

## Q1. このイベントは何でお知りになりましたか



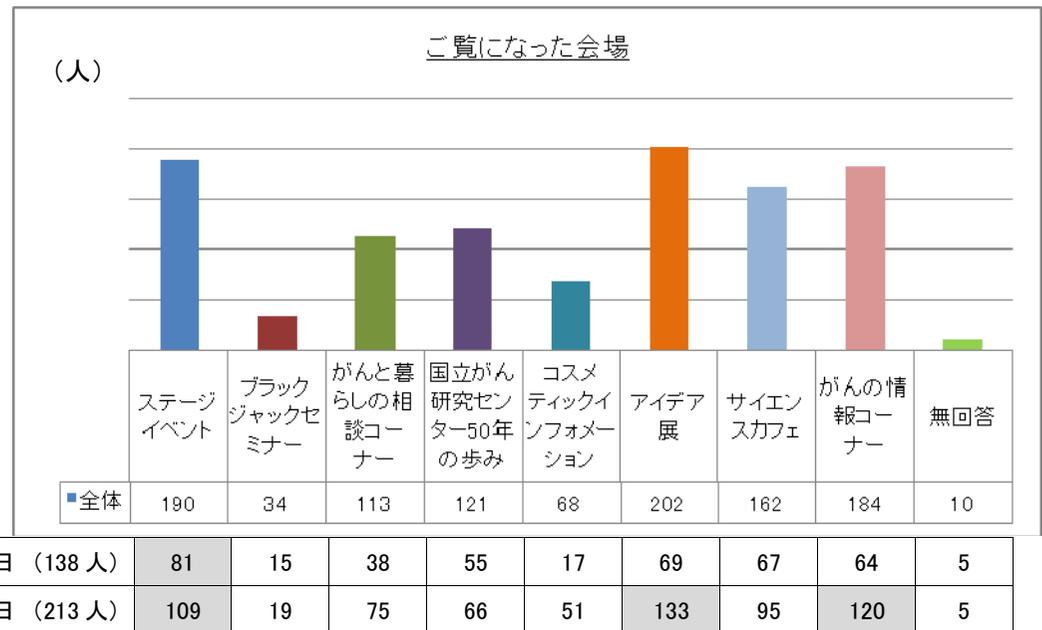
・イベントの認知経路は、「新聞広告」が最も多く 123 人(35%)、次いで「ロコミ」62 人(18%)、「がん研究センターHP」45 人(13%)、「その他」47 人(13%)、「がん研究センターのポスター」26 人(7%)、「ちらし」19 人(5%)、「新聞記事」10 人(3%)、「たまたま前を通りかかって」9 人(3%)の順です。

・「その他」回答の内訳は、「NHK ニュース」(12 人)、「テレビ」(5 人)など。

## Q2. ご覧になった会場をお知らせください

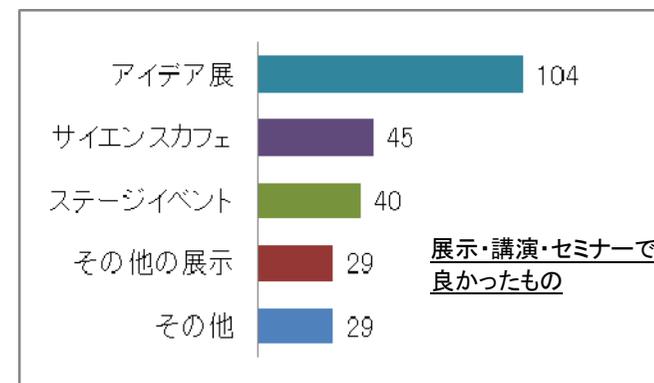
・全体では、「がん患者さんの暮らし広がるアイデア展」が最も高く 202 人(58%)、次いで「ステージイベント」190 人(54%)、がんの情報コーナー(冊子・パンフレット・絵画展示)184 人(52%)、「キャンサー・サイエンス・カフェ」162 人(46%)。

・日にち別にみると、15 日は「ステージイベント」81 人(59%)、16 日は「アイデア展」133 人(62%)、「がんの情報コーナー」120 人(56%)、「ステージイベント」109 人(51%)の観覧率が高くなっています。



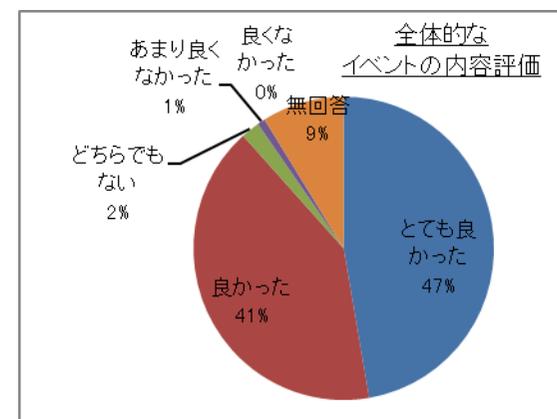
### Q3. ご覧になった展示・講演・セミナーの中で「良かった」と思われた情報 (O.A.)

- ・自由記述で多かった回答は、「がん患者さんの暮らし広がるアイデア展」(104人)、「キャンサー・サイエンスカフェ」(45人)、「ステージイベント」(40人)に関するものです。
- ・ステージイベントについては、「オープニングセレモニー」「スター混声合唱団」「がん検診の講習会」「がんを遠ざける生活習慣セミナー」が好評でした。
- ・その他展示では、「がんと暮らしの相談コーナー」「コスメティックインフォメーション」「ブラックジャックセミナー」が好評でした。
- ・全体的な感想では、「いろいろな展示・情報があった」「展示が見やすい」「スタッフの方が親切」「熱心に対応してくれた」など。



### Q4. 全体的なイベントの内容評価

- ・「とても良かった」166人(47%)、「良かった」144人(41%)で、約9割の回答者が「良かった」と評価しています。



### Q5. イベントをご覧になった感想 \* 一部を抜粋して掲載 ( )内プロフィールは、回答者のみ記入

#### 【患者さんの感想】

- ・これから手術を控えているいろいろな参考になりました(70代・女性)
- ・がん治療中で少し疲れを感じていた時に、とても元気をいただきました(60代)
- ・がん患者でありながら、がんのこと(発症の仕方、増殖の仕方、防ぎ方)をよく分かっていなかった(60代・男性)
- ・がんと暮らしの相談コーナーで相談にのっていただきました。得ることが多く、不安も少し消えました(30代・女性)
- ・化粧の仕方、明るく見せる方法が参考になった。靴の機能性について履いて歩いてみて実感できた(70代・女性)
- ・補助食品を探していたので、とても参考になりました(50代・女性)
- ・キャンサーサイエンスカフェで色々質問に答えてもらい疑問が解けた。腫瘍マーカーについて詳しく聞くことができよかった(30代・女性)
- ・スタッフ全員の熱心さが伝わってきた。関係者全員の思いに感動しました(60代・男性)

### 【患者家族の感想】

- ・ここに来て沢山の方に支えられているということを感じました。家族と本人とみんなで、今日知ったことについて情報共有すること、それが今後治療を続けていく上で前向きになれる(30代)
- ・患者が必要としている日用品の展示、試供品があり、今まで困っていた部分が質問できて日常生活に大いに役立った(60代・女性)
- ・アシックスのウォーキング講座、飲み込みにくい人の食品の紹介、生活補助商品の紹介(40代・女性)
- ・パンフレット類が多くあったので参考になった。実際の医療機器を見ることができて良かった(50代・女性)
- ・がんサイエンスカフェ。顕微鏡を見ながら丁寧に説明を聞くことができた。病理のことがわかってとても良かった(30代・女性)
- ・国立がん研究センターにかかっていない人、今健康な人もこのように訪れて予防や治療の励みにできる開かれたイベントは大変よいと思います(40代・女性)
- ・外来や入院のためだけに来ると思っていたが、このようなたくさんのイベントを見ることができ気持ちが楽になりました(60代・女性)
- ・2歳と5歳の子どもも顕微鏡など楽しんでいました。また機会があったらこういうものに触れさせたい(30代・女性)

### 【医療従事者の感想】

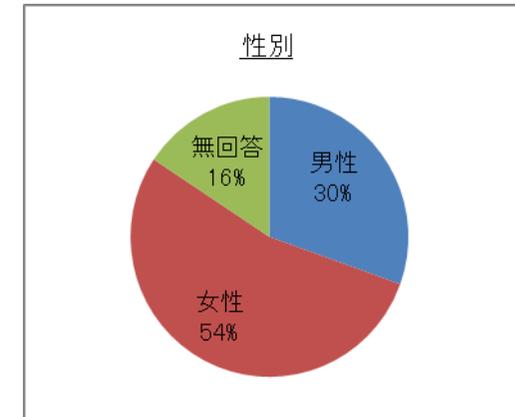
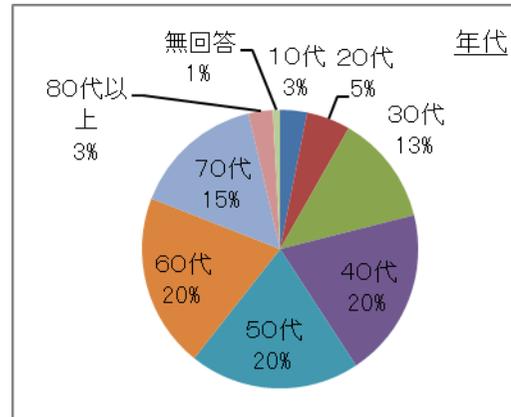
- ・がんに対する意識が変わった(50代・女性)
- ・ささえあうコーナーを見たいと思って来ました。患者さんや家族が日々直面している困っていること、医療者がどのようにどこまでサポートできるのか考えていきたいと思います。こうしたことにスタッフの皆さんが取り組まれることが大切なのだと感じました(50代・女性)
- ・ケモ中の食事、スキンケアの話(20代・女性)
- ・入院中や退院時の指導には限界があり、今回のように具体的な展示やアイデアを見られるのは、生活に沿っていてとてもよかった(20代)
- ・会場が目的別になっており分かりやすかった。スタッフが熱心で前向きにがんと闘える気持ちになると思った(50代)
- ・とても素晴らしい取り組みをされていると感じました。活動だけでなくQOLを向上させる努力に感銘を受けました(50代・男性)

### 【一般の方の感想】

- ・がんについて身近になりました(50代・男性)
- ・がん＝死と考えていたが、治療法、器具の進歩をみて早期に見つければ治るものと感じた(60代・男性)
- ・いつでもかかる可能性があるが、あまり理解していないことが多い。一方、実際のがん患者でないのにここに来ることがない。こうしたイベントでここがこういう所で、どういう取り組みをしているのかが分かり、理解が深まりやすい。ここを見てみたいと前々から思っていたので良かった(50代・女性)
- ・癌＝良・明(60代・女性)
- ・初歩的なことから生活ケアまで、ていねいに説明していた。がんサイエンスカフェでは詳しく説明していただき分かりやすかった(30代・男性)
- ・がん研究センターのイメージが変わった(70代・女性)
- ・このようなイベントの回数を増やしてほしい(50代・男性)

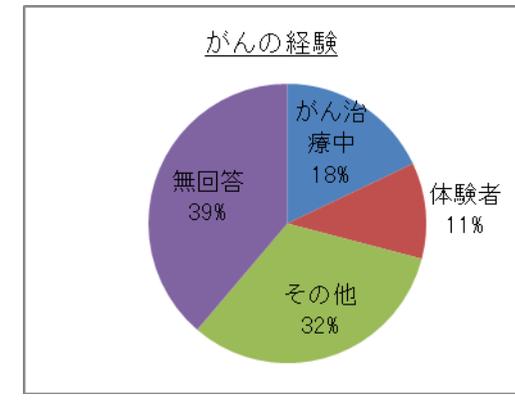
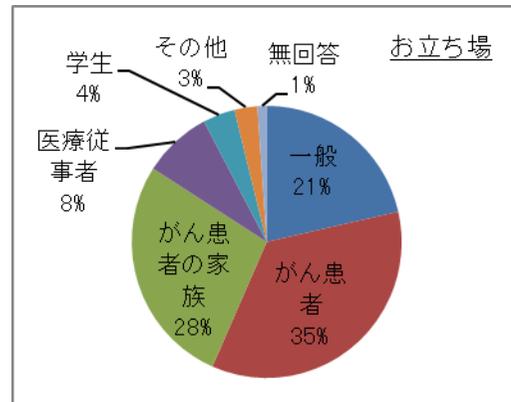
## 回答者プロフィール

・回答者は 40～60 代が中心、半数以上が女性。



・回答者のお立ちは「がん患者さん」128 人(37%)、「患者家族」100 人(29%)、「一般」78 人(22%)、「医療従事者」30 人(9%)、「学生」14 人(4%)、「その他」10 人(3%)。

\* グラフは 100%に自動調整するため、上記表示と異なります。



・がん経験については、回答者の約 6 割(215 人)が回答。「がん治療中」の方 63 人(18%)、体験者 39 人(11%)、その他 113 人(32%)。

・動画配信については、216 人(62%)の人が「見てみたい」。来場前に「すでに見た」も 16 人(5%)。

